



3.まとめ ～ 与謝野町の公共施設の現状 ～

ここまで各カテゴリーの状況を見てきましたが、ここからはそれを集約し、現状を分析します。

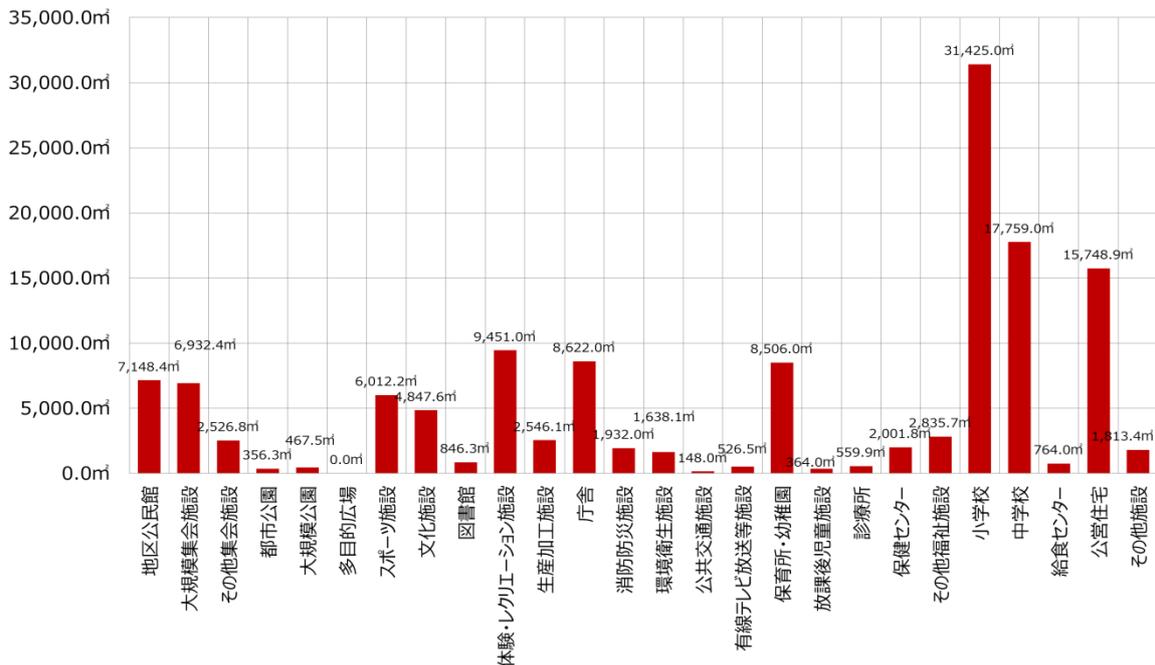
その1 与謝野町の公共施設の規模と整備状況

まずはじめに、与謝野町の保有する公共施設の規模を延床面積で見てください。カテゴリーごとの延床面積合計は以下のとおりです。

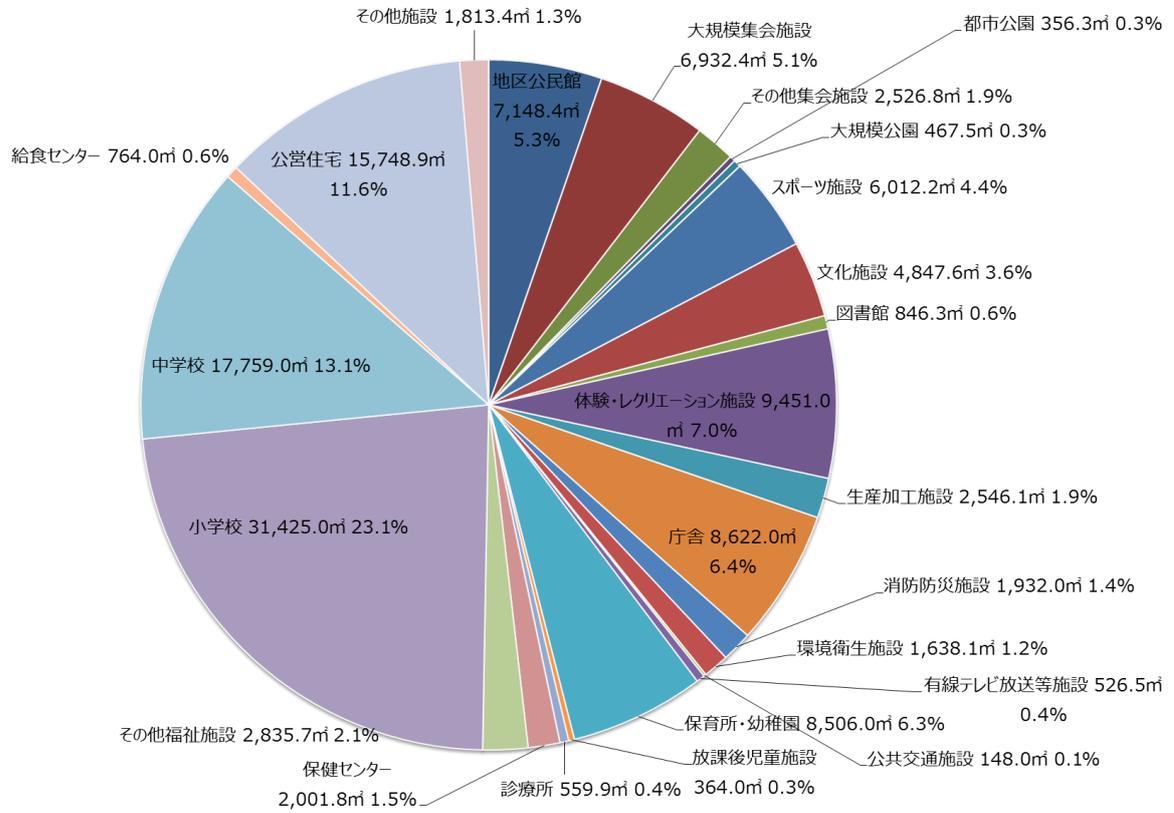
【各施設カテゴリーの建物延床面積一覧】

地区公民館	大規模集会施設	その他集会施設	都市公園	大規模公園	多目的広場	スポーツ施設
7,148.4㎡	6,932.4㎡	2,526.8㎡	356.3㎡	467.5㎡	0.0㎡	6,012.2㎡
文化施設	図書館	体験・レクリエーション施設	生産加工施設	庁舎	消防防災施設	環境衛生施設
4,847.6㎡	846.3㎡	9,451.0㎡	2,546.1㎡	8,622.0㎡	1,932.0㎡	1,638.1㎡
公共交通施設	有線テレビ放送等施設	保育所・幼稚園	放課後児童施設	診療所	保健センター	その他福祉施設
148.0㎡	526.5㎡	8,506.0㎡	364.0㎡	559.9㎡	2,001.8㎡	2,835.7㎡
小学校	中学校	給食センター	公営住宅	その他施設	合計	
31,425.0㎡	17,759.0㎡	764.0㎡	15,748.9㎡	1,813.4㎡	135,778.9㎡	

【公共施設延床面積比較グラフ①】



【公共施設延床面積比較グラフ②】

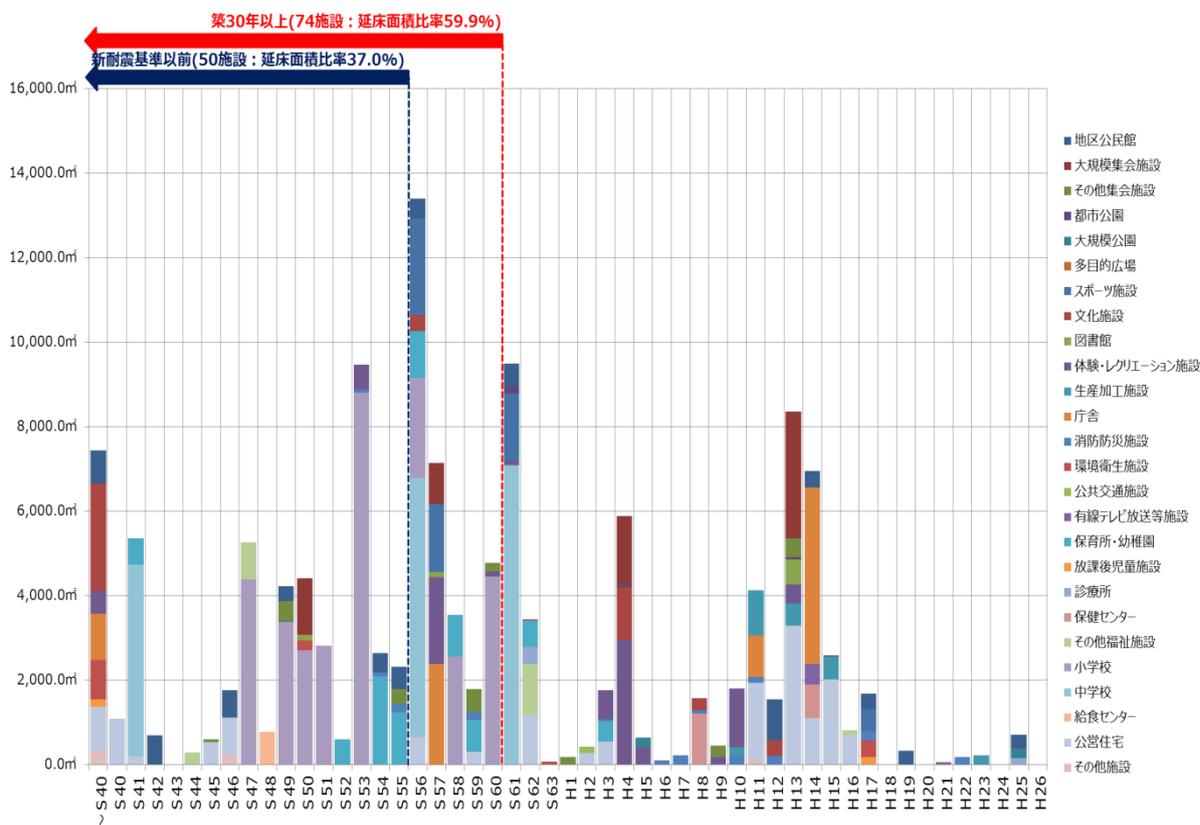


延床面積比較をすると全体で 135,778.9 ㎡となっています。

カテゴリーごとに比較してみるとやはり9校ある小学校が大きく全体の23.1%になります。中学校と合わせると36.2%となり、学校施設だけで大きな割合を占めていることがわかります。

次にお示しするのは、現況の公共施設がいつ整備されたかを示すグラフです。公共施設の延床面積を整備された年代順に積み上げています。

【公共施設の整備年表（延床面積）】



※他団体から譲渡された建物で建築年が不明のものを除く

このグラフを見ると、昭和40年代後半～昭和60年代初めにかけて集中的に整備されてきたことが分かります。特に昭和50年代の学校施設の整備が目立っています。鉄筋コンクリート造の耐用年数を50年と想定すると、あと10年ほどでそれらの耐用年数を順次迎えていくことになります。

また築30年が経過している建物の延床面積の割合が59.9%と半数を超えている状況にあり、あと20年ほどでそれらの施設が順次耐用年数を迎えていくという状況にあります。

老朽化状況は後の項目でも説明します。

その2 与謝野町の公共施設の配置状況

次に与謝野町の公共施設の配置状況を見てみましょう。まずは各小学校単位での配置状況です。延床面積と施設数で比較しました。

【公共施設地域別一覧④（学校区ごと）】

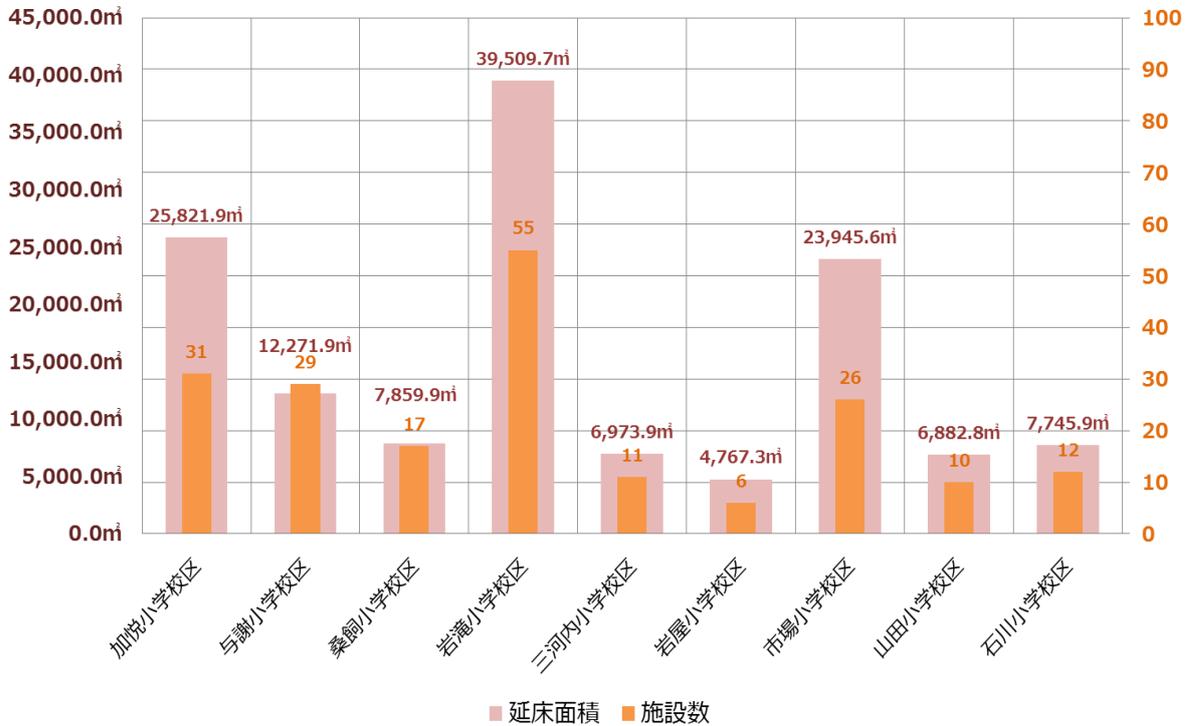
地域名		地区 公民館	大規模集 会施設	その他集 会施設	都市公園	大規模 公園	多目的 広場	スポーツ施設	文化施設
加悦小学校区	延床面積	1,086.1㎡	1,349.8㎡	356.9㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	2,547.2㎡
	施設数	4	1	1	0	0	1	1	3
与謝小学校区	延床面積	920.0㎡	0.0㎡	588.6㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	1,495.2㎡	877.5㎡
	施設数	3	0	2	0	1	0	3	4
桑飼小学校区	延床面積	821.1㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	1,053.8㎡
	施設数	3	0	0	0	0	0	0	4
岩滝小学校区	延床面積	1,027.0㎡	2,999.3㎡	981.2㎡	356.3㎡	238.5㎡	0.0㎡	3,416.9㎡	0.0㎡
	施設数	3	1	3	9	1	0	6	0
三河内小学校区	延床面積	524.8㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	229.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	369.1㎡
	施設数	1	0	0	0	1	0	0	1
岩屋小学校区	延床面積	464.6㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	1	0	0	0	0	0	0	0
市場小学校区	延床面積	990.4㎡	2,583.3㎡	269.2㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	1,100.1㎡	0.0㎡
	施設数	2	2	1	0	0	1	3	0
山田小学校区	延床面積	752.4㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	2	0	0	0	0	0	0	0
石川小学校区	延床面積	562.0㎡	0.0㎡	330.9㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	1	0	2	0	0	0	0	0
地域名		図書館	体験・レク リエーション	生産加工 施設	庁舎	消防防災 施設	環境衛生 施設	公共交通 施設	有線テレビ 放送等施設
加悦小学校区	延床面積	122.6㎡	829.3㎡	525.4㎡	4,167.2㎡	195.5㎡	0.0㎡	0.0㎡	491.2㎡
	施設数	1	1	1	1	1	1	0	1
与謝小学校区	延床面積	0.0㎡	3,569.3㎡	956.0㎡	0.0㎡	178.6㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	0	7	4	0	1	1	0	0
桑飼小学校区	延床面積	0.0㎡	572.4㎡	1,064.7㎡	0.0㎡	83.1㎡	398.5㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	0	2	1	0	1	2	0	0
岩滝小学校区	延床面積	601.0㎡	3,156.4㎡	0.0㎡	2,377.9㎡	624.0㎡	306.2㎡	0.0㎡	16.7㎡
	施設数	1	2	0	1	5	3	0	1
三河内小学校区	延床面積	0.0㎡	790.7㎡	0.0㎡	0.0㎡	205.6㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	0	2	0	0	1	0	0	0
岩屋小学校区	延床面積	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	84.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	0	0	0	0	1	0	0	0
市場小学校区	延床面積	122.7㎡	532.9㎡	0.0㎡	2,076.9㎡	132.4㎡	0.0㎡	0.0㎡	18.6㎡
	施設数	1	1	0	2	1	2	0	1
山田小学校区	延床面積	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	214.4㎡	0.0㎡	148.0㎡	0.0㎡
	施設数	0	0	0	0	1	0	1	0
石川小学校区	延床面積	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	214.4㎡	933.4㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	0	0	0	0	1	1	0	0

地域名		保育所・幼稚園	放課後児童施設	診療所	保健センター	その他福祉施設	小学校	中学校	給食センター
加悦小学校区	延床面積	1,016.3㎡	0.0㎡	0.0㎡	1,201.0㎡	872.9㎡	4,443.0㎡	4,541.0㎡	0.0㎡
	施設数	1	0	0	1	1	1	1	0
与謝小学校区	延床面積	595.9㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	2,552.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	1	0	0	0	0	1	0	0
桑飼小学校区	延床面積	619.6㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	2,367.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	1	0	0	0	1	1	0	0
岩滝小学校区	延床面積	1,857.0㎡	187.6㎡	0.0㎡	800.8㎡	1,326.1㎡	6,015.0㎡	6,131.0㎡	0.0㎡
	施設数	2	1	0	1	2	1	1	0
三河内小学校区	延床面積	488.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	3,377.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	1	0	0	0	0	1	0	0
岩屋小学校区	延床面積	761.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	2,809.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	1	0	0	0	0	1	0	0
市場小学校区	延床面積	1,105.0㎡	91.7㎡	0.0㎡	0.0㎡	636.7㎡	4,381.0㎡	7,087.0㎡	764.0㎡
	施設数	1	1	0	0	2	1	1	1
山田小学校区	延床面積	1,069.2㎡	84.7㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	2,780.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	1	1	0	0	0	1	0	0
石川小学校区	延床面積	994.0㎡	0.0㎡	559.9㎡	0.0㎡	0.0㎡	2,701.0㎡	0.0㎡	0.0㎡
	施設数	1	0	3	0	0	1	0	0
地域名		町営住宅	その他施設	合計					
加悦小学校区	延床面積	2,076.5㎡	0.0㎡	25,821.9㎡					
	施設数	6	2	31					
与謝小学校区	延床面積	538.8㎡	0.0㎡	12,271.9㎡					
	施設数	1	0	29					
桑飼小学校区	延床面積	879.7㎡	0.0㎡	7,859.9㎡					
	施設数	1	0	17					
岩滝小学校区	延床面積	5,842.0㎡	1,248.8㎡	39,509.7㎡					
	施設数	6	5	55					
三河内小学校区	延床面積	989.7㎡	0.0㎡	6,973.9㎡					
	施設数	3	0	11					
岩屋小学校区	延床面積	648.7㎡	0.0㎡	4,767.3㎡					
	施設数	2	0	6					
市場小学校区	延床面積	2,053.7㎡	0.0㎡	23,945.6㎡					
	施設数	2	0	26					
山田小学校区	延床面積	1,269.5㎡	564.6㎡	6,882.8㎡					
	施設数	1	2	10					
石川小学校区	延床面積	1,450.3㎡	0.0㎡	7,745.9㎡					
	施設数	2	0	12					

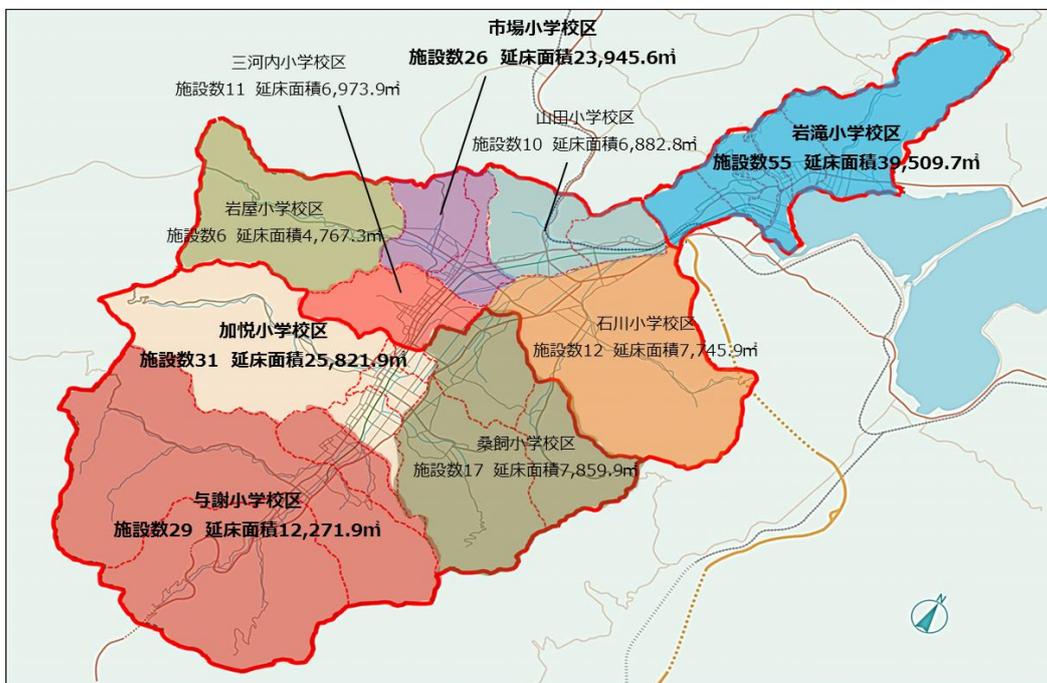
各小学校区単位で配置を見た場合、町全体が1小学校区だった岩滝小学校区は当然として、やはり旧町の中心地となっていた加悦小学校区、市場小学校区に集中しています。山林の多い与謝小学校区には自然を生かした生産加工施設や体験レクリエーション施設が多く配置されています。

これらをグラフや地図で示すと、次のようになります。

【公共施設の配置比較グラフ①（小学校区：延床面積/施設数）】



【公共施設の配置比較図（小学校区：延床面積/施設数）】



旧町ごとにまとめると以下のとおりになります。

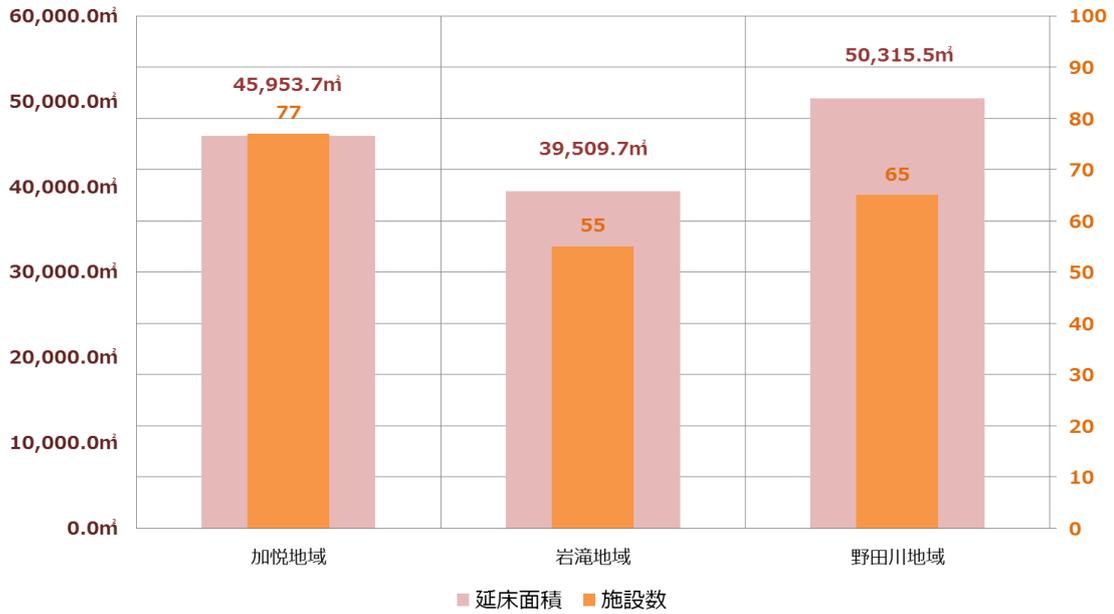
【公共施設地域別一覧②（旧町ごと）】

地域名		地区 公民館	大規模集 会施設	その他集 会施設	都市公園	大規模 公園	多目的 広場	スポーツ施設	文化施設
加悦地域	延床面積	2,827.2㎡	1,349.8㎡	945.5㎡	0.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	1,495.2㎡	4,478.5㎡
	施設数	10	1	3	0	1	1	4	11
岩滝地域	延床面積	1,027.0㎡	2,999.3㎡	981.2㎡	356.3㎡	238.5㎡	0.0㎡	3,416.9㎡	0.0㎡
	施設数	3	1	3	9	1	0	6	0
野田川地域	延床面積	3,294.2㎡	2,583.3㎡	600.1㎡	0.0㎡	229.0㎡	0.0㎡	1,100.1㎡	369.1㎡
	施設数	7	2	3	0	1	1	3	1
合計	延床面積	7,148.4㎡	6,932.4㎡	2,526.8㎡	356.3㎡	467.5㎡	0.0㎡	6,012.2㎡	4,847.6㎡
	施設数	20	4	9	9	3	2	13	12
地域名		図書館	体験・レク リエーション	生産加工 施設	庁舎	消防防災 施設	環境衛生 施設	公共交通 施設	有線テレビ 放送等施設
加悦地域	延床面積	122.6㎡	4,971.0㎡	2,546.1㎡	4,167.2㎡	457.2㎡	398.5㎡	0.0㎡	491.2㎡
	施設数	1	10	6	1	3	4	0	1
岩滝地域	延床面積	601.0㎡	3,156.4㎡	0.0㎡	2,377.9㎡	624.0㎡	306.2㎡	0.0㎡	16.7㎡
	施設数	1	2	0	1	5	3	0	1
野田川地域	延床面積	122.7㎡	1,323.6㎡	0.0㎡	2,076.9㎡	850.8㎡	933.4㎡	148.0㎡	18.6㎡
	施設数	1	3	0	2	5	3	1	1
合計	延床面積	846.3㎡	9,451.0㎡	2,546.1㎡	8,622.0㎡	1,932.0㎡	1,638.1㎡	148.0㎡	526.5㎡
	施設数	3	15	6	4	13	10	1	3
地域名		保育所・ 幼稚園	放課後児 童施設	診療所	保健センター	その他福 祉施設	小学校	中学校	給食センター
加悦地域	延床面積	2,231.8㎡	0.0㎡	0.0㎡	1,201.0㎡	872.9㎡	9,362.0㎡	4,541.0㎡	0.0㎡
	施設数	3	0	0	1	2	3	1	0
岩滝地域	延床面積	1,857.0㎡	187.6㎡	0.0㎡	800.8㎡	1,326.1㎡	6,015.0㎡	6,131.0㎡	0.0㎡
	施設数	2	1	0	1	2	1	1	0
野田川地域	延床面積	4,417.2㎡	176.4㎡	559.9㎡	0.0㎡	636.7㎡	16,048.0㎡	7,087.0㎡	764.0㎡
	施設数	5	2	3	0	2	5	1	1
合計	延床面積	8,506.0㎡	364.0㎡	559.9㎡	2,001.8㎡	2,835.7㎡	31,425.0㎡	17,759.0㎡	764.0㎡
	施設数	10	3	3	2	6	9	3	1
地域名		町営住宅	その他 施設	合計					
加悦地域	延床面積	3,495.0㎡	0.0㎡	45,953.7㎡					
	施設数	8	2	77					
岩滝地域	延床面積	5,842.0㎡	1,248.8㎡	39,509.7㎡					
	施設数	6	5	55					
野田川地域	延床面積	6,411.9㎡	564.6㎡	50,315.5㎡					
	施設数	10	2	65					
合計	延床面積	15,748.9㎡	1,813.4㎡	135,778.9㎡					
	施設数	24	9	197					

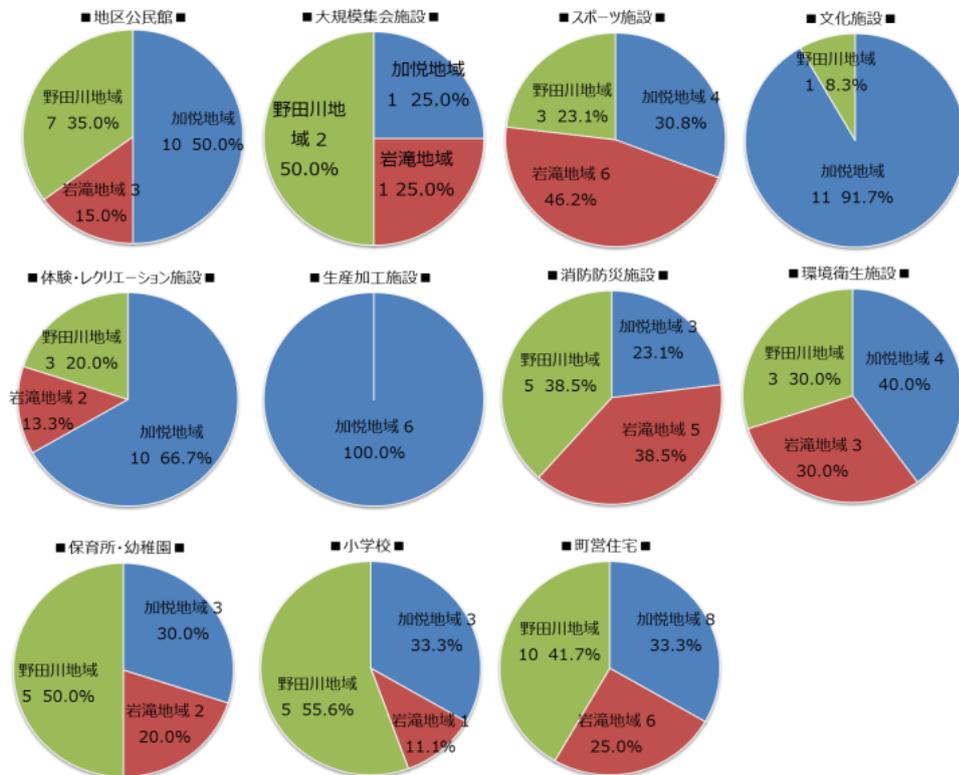
旧町単位で比較すると、延床面積に関しては野田川地域が最も大きくなっています。旧町時代に人口規模が最も大きかったことや旧 5 村に施設が点在していたことが要因だと考えられます。

一方で、施設数に目を向けると、加悦地域が多くなっています。旧加悦町時代に整備された体験・レクリエーション施設や生産加工施設、古墳公園をはじめとする文化施設など他のまちにはない施設が多く設置されています。

【公共施設の配置比較グラフ②（旧町：延床面積/施設数）】



【主な公共施設カテゴリーの配置比較（旧町：施設数）】



主な公共施設カテゴリー単位で配置状況を比較すると、特に偏在がみられるのが、文化施設、体験・レクリエーション施設、生産加工施設です。加悦地域に多く配置されていることがわかります。

【各公共施設老朽化一覧（老朽化率順）】

施設名	老朽化状況				耐震性	施設名	老朽化状況				耐震性
	建築年	耐用年数到達	経過年数	老朽化率			建築年	耐用年数到達	経過年数	老朽化率	
算所地区公民館	S9	S44	81年	231%	不明	加悦教職員住宅	S62	H34	28年	80%	有
矢倉団地	S29	H1	61年	174%	無	加悦最終処分場	H8	H32	19年	79%	-
桜谷団地	S29	H1	61年	174%	無	岩屋小学校	S51	H36	39年	78%	有
金屋地区公民館	S32	H4	58年	166%	不明	岩滝第三分団消防車庫	S59	H36	31年	78%	有
小谷団地	S35	H7	55年	157%	無	会葬者待合所兼事務所	S63	H35	27年	77%	無
与謝地区公民館	S38	H10	52年	149%	不明	与謝保育園	S52	H39	38年	76%	有
旧岩滝郵便局倉庫	S38	H10	52年	149%	無	算所団地	S56	H38	34年	76%	無
岩滝児童館	S38	H10	52年	149%	無	堂谷公民館	H1	H36	26年	74%	不明
大藪団地	S38	H10	52年	149%	無	岩滝小学校	S53	H40	37年	74%	有
船山団地	S40	H12	50年	143%	無	山田小学校	S53	H40	37年	74%	有
正導寺団地	S41	H13	49年	140%	無	幾地地区公民館	S61	H38	29年	73%	有
河守団地	S41	H13	49年	140%	無	岩屋地区公民館	S54	H41	36年	72%	不明
加悦地区公民館	S42	H14	48年	137%	不明	野田川第二分団消防車庫	S54	H41	36年	72%	有
温江地区公民館	S42	H14	48年	137%	不明	加悦保育園	S54	H41	36年	72%	有
織物技能訓練センター	S36	H13	54年	135%	不明	山田保育所	S54	H41	36年	72%	有
障害者グループホーム・就労継続支援施設	S44	H16	46年	131%	無	小井根団地	H2	H37	25年	71%	有
藤ヶ森会館	S45	H17	45年	129%	無	算所会館	S55	H42	35年	70%	有
森ノ下団地	S45	H17	45年	129%	無	阿蘇霊照苑	S50	H37	35年	70%	無
尾の上団地	S46	H18	44年	126%	無	岩滝保育所	S55	H42	35年	70%	有
石田地区公民館	S46	H23	44年	110%	不明	池田団地	H3	H38	24年	69%	有
公用車車庫	S46	H23	44年	110%	無	四辻地区公民館	S56	H43	34年	68%	有
与謝野町野田川庁舎	S37	H24	53年	106%	無	岩滝体育館	S56	H43	34年	68%	無
かや山の家	S53	H25	37年	106%	不明	農村文化保存伝習センター	S56	H43	34年	68%	有
機械保管倉庫	S48	H25	42年	105%	無	市場保育所	S56	H43	34年	68%	有
給食センター	S48	H25	42年	105%	有	桑飼小学校	S56	H43	34年	68%	有
弓木地区公民館	S49	H26	41年	103%	不明	橋立中学校	S56	H43	34年	68%	有
野田川衛生プラント	S39	H26	51年	102%	無	中央公民館	S57	H44	33年	66%	有
岩滝幼稚園	S41	H28	49年	98%	無	図書館野田川分室	S57	H44	33年	66%	-
加悦中学校	S41	H28	49年	98%	無	加悦双峰公園	S57	H44	33年	66%	有
染色センター	S57	H29	33年	94%	不明	与謝野町役場	S57	H44	33年	66%	有
加悦第三分団消防車庫	S53	H29	37年	93%	無	江山文庫	H4	H39	23年	66%	有
川上公民館	S59	H31	31年	89%	不明	三河内幼稚園	H4	H39	24年	66%	有
中坪団地	S59	H31	31年	89%	有	石川保育所	S58	H45	32年	64%	有
加悦奥地区公民館	S46	H33	44年	88%	不明	与謝小学校	S58	H45	32年	64%	有
三河内地区公民館	S55	H32	35年	88%	不明	野田川森林公園	H5	H40	22年	63%	有
加悦第一分団消防車庫	S55	H32	35年	88%	有	道の駅	H5	H40	22年	63%	有
加悦社会福祉センター	S47	H34	43年	86%	無	与謝野駅舎	H2	H42	25年	63%	有
市場小学校	S47	H34	43年	86%	有	安良団地	S62	H44	28年	62%	有
農村女性の家	S60	H32	30年	86%	不明	若者センター	S59	H46	31年	62%	有
木工加工施設	S60	H32	30年	86%	有	岩屋保育所	S59	H46	31年	62%	有
城山公園弓道場	S61	H33	29年	83%	不明	野田川ユースセンター	H3	H43	24年	60%	有
三河内山の家	S61	H33	29年	83%	有	道の駅屋外トイレ	H6	H41	21年	60%	有
野田川体育館	S57	H34	33年	83%	有	岩滝第二分団消防車庫	H3	H43	24年	60%	有
農業者健康管理施設	S57	H34	33年	83%	不明	加悦小学校	S60	H47	30年	60%	有
岩滝母と子どものセンター	S49	H36	41年	82%	不明	岩滝最終処分場	H11	H38	16年	59%	-
三河内小学校	S49	H36	41年	82%	有	大江山体育館	S61	H48	29年	58%	有
加悦地域公民館	S50	H37	40年	80%	有	江陽中学校	S61	H48	29年	58%	有
松風庵	S62	H34	28年	80%	有	桑飼保育園	S62	H49	28年	56%	有
図書館加悦分室	S50	H37	40年	80%	-	国保診療所	S62	H49	28年	56%	無
医師住宅	S62	H34	28年	80%	無	岩滝ふれあいセンター	S62	H49	28年	56%	有
石川小学校	S50	H37	40年	80%	有	岩滝第四分団消防車庫	H6	H46	21年	53%	有
三合池団地	S62	H34	28年	80%	有	幾地コミュニティセンター	H9	H44	18年	51%	無

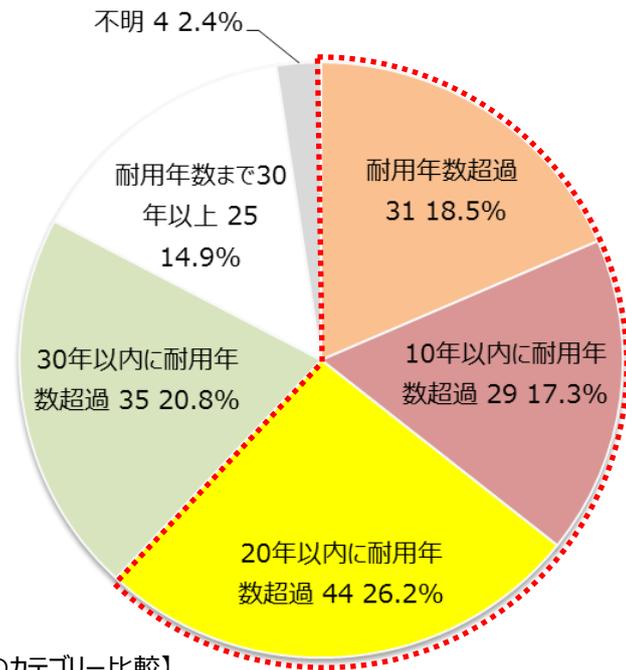
施設名	老朽化状況				耐震性	施設名	老朽化状況				耐震性
	建築年	耐用年数到達	経過年数	老朽化率			建築年	耐用年数到達	経過年数	老朽化率	
野田川第五分団消防車庫	H7	H47	20年	50%	有	後野地区公民館	H25	H60	2年	6%	有
ちんざん	H10	H45	17年	49%	有	国保診療所リハビリ棟	H25	H65	2年	5%	有
地域農産物等活用型交流施設	H10	H45	17年	49%	有	阿蘇シーサイドパーク	H25	H60	2年	4%	有
岩滝第一分団消防車庫	H8	H48	19年	48%	有	明石地区公民館	H27	H62	0年	0%	有
勤労者総合福祉センター(野田川わくばる)	H4	H54	23年	46%	有	耐用年数や建築年等が不明の施設					
物産展示館(古墳)	H4	H54	23年	46%	有						
はにわ資料館(古墳)	H4	H54	23年	46%	有	施設名	老朽化状況				耐震性
クアハウス岩滝	H4	H54	23年	46%	有		建築年	耐用年数到達	経過年数	老朽化率	
滝地区公民館	H12	H47	15年	43%	有	福祉センター跡	譲渡などにより不明				無
石川地区公民館(石川農構センター)	H12	H47	15年	43%	有	機業会館跡	譲渡などにより不明				無
野田川第四分団消防車庫	H10	H50	17年	43%	有	旧下山田公民館	不明				無
岩滝コミュニティセンター	H13	H48	14年	40%	有	旧法務局跡	譲渡などにより不明				無
大内峠一字観公園	H13	H48	14年	40%	有	算所共同作業所	不明				無
冷凍米飯加工施設	H11	H51	16年	40%	有	香河地区公民館	不明				無
野田川第三分団消防車庫	H11	H51	16年	40%	有	野田川老人憩いの家	譲渡などにより不明				無
マイクロバス車庫	H11	H51	16年	40%	無	与謝の園	譲渡などにより不明				無
加悦椿文化資料館	H8	H58	19年	38%	有						
元気館(2階含む)	H8	H58	19年	38%	有						
野田川第一分団消防車庫	H12	H52	15年	38%	有						
上山田地区公民館	H14	H49	13年	37%	有						
男山第2団地	H14	H49	13年	37%	有						
有機物供給施設	H13	H53	14年	35%	不明						
岩滝教職員住宅	H13	H53	14年	35%	有						
リフレかやの里	H10	H60	17年	34%	有						
与謝野町野田川庁舎北庁舎	H11	H61	16年	32%	有						
浜町野田会館	H16	H51	11年	31%	有						
天神山第2団地	H16	H51	11年	31%	有						
三河内郷土資料館	H12	H62	15年	30%	有						
大豆・米乾燥調製施設	H15	H55	12年	30%	有						
ツバキ育苗温室	H15	H55	12年	30%	有						
市場学童保育所	H17	H52	10年	29%	有						
山田学童保育所	H17	H52	10年	29%	有						
生涯学習センター(知遊館)(岩滝地域公民館)	H13	H63	14年	28%	有						
与謝野町立図書館	H13	H63	14年	28%	-						
与謝野町加悦庁舎	H14	H64	13年	26%	有						
CATVセンター	H14	H64	13年	26%	有						
岩滝保健センター	H14	H64	13年	26%	有						
野田川最終処分場	H15	H62	12年	26%	-						
下山田地区公民館	H17	H57	10年	25%	有						
防災倉庫	H17	H57	10年	25%	有						
ストックヤード	H17	H57	10年	25%	無						
男山地区公民館	H19	H54	8年	23%	有						
天神山団地	H11	H81	16年	23%	有						
岩滝小体育館	H17	H67	10年	20%	有						
男山第1団地	H13	H83	14年	20%	有						
下山田団地	H13	H83	14年	20%	有						
山王下団地	H15	H85	12年	17%	有						
BDF供給施設	H21	H61	6年	15%	無						
CATV岩滝サブセンター	H21	H61	6年	15%	有						
CATV野田川サブセンター	H21	H61	6年	15%	有						
加悦第二分団消防車庫	H22	H62	5年	13%	有						
農産加工施設	H23	H48	4年	11%	有						

耐用年数超過	31
10年以内に耐用年数超過	29
20年以内に耐用年数超過	44
30年以内に耐用年数超過	35
耐用年数まで30年以上	25
不明	4
合計	168

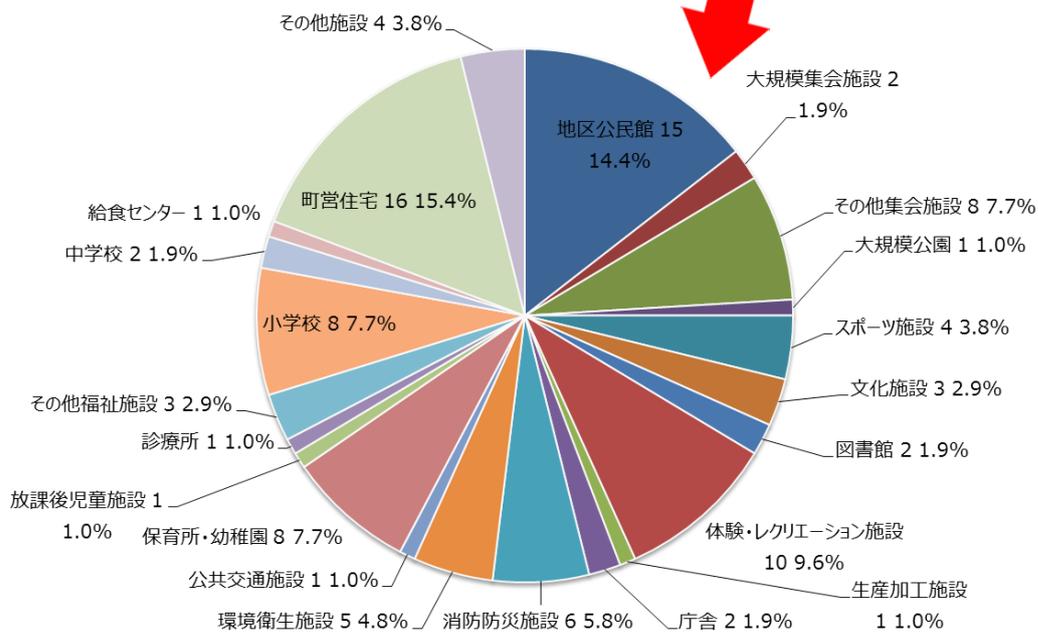
建築年が不明な 8 施設を加えた 168 施設

与謝野町の公共施設はすでに耐用年数を超過していると思われる施設が 31 あり、今から 10 年以内にさらに 29 施設が耐用超過となります。そこから 10 年後（今から 20 年後）には、さらに 44 施設が耐用年数を迎えることになり、今から 20 年間で 73 施設が耐用年数を超過し合計 104 施設に達します。下のグラフはグラウンドや多目的広場など白書上では延床面積がない施設などを除いた 168 施設について耐用年数超過となる施設の割合がどうなるかを示したものです。168 を分母にしていますので、20 年後に耐用年数が超過する施設の割合は 62% になります。

【今後の公共施設の老朽化状況】



【20年以内に耐用年数を迎える 104 施設の 카테고리比較】



その4 与謝野町の公共施設の管理・運営コスト

次に各施設カテゴリーの管理・運営コストを見てみましょう。公共施設全体の1年間にかかる管理・運営コストは以下のとおりです。

【各施設カテゴリーの年間管理・運営コスト一覧】

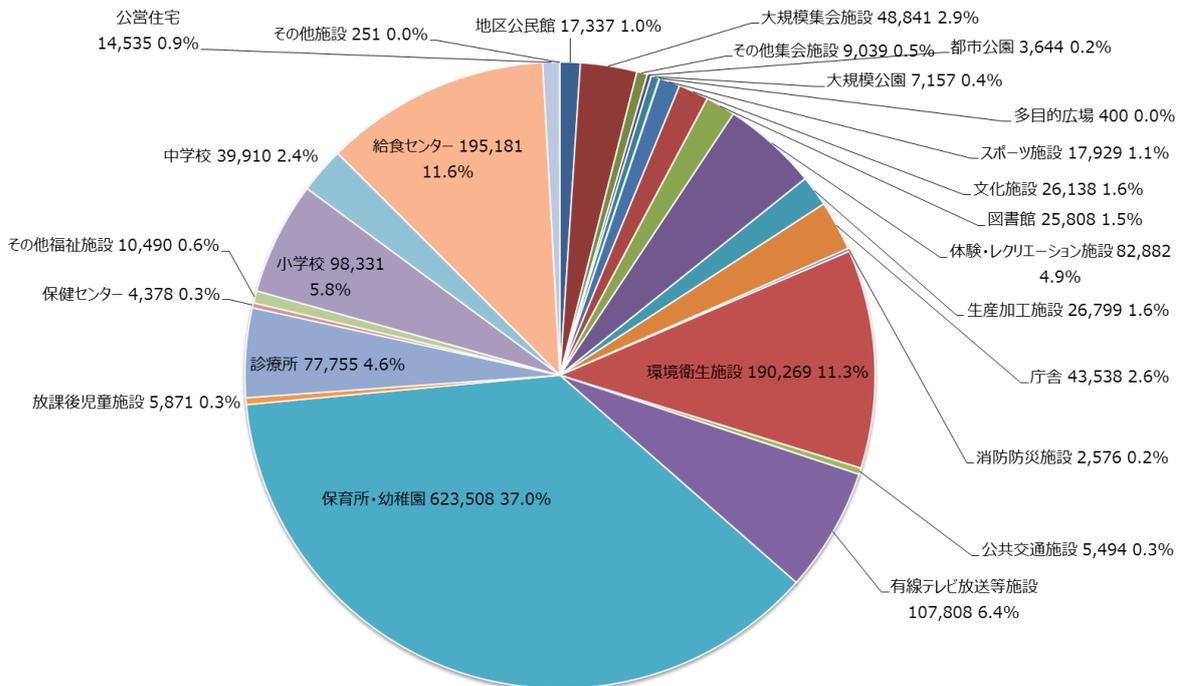
地区公民館	大規模集会施設	その他集会施設	都市公園	大規模公園	多目的広場	スポーツ施設
17,337千円	48,841千円	9,039千円	3,644千円	7,157千円	400千円	17,929千円
文化施設	図書館	体験・レクリエーション施設	生産加工施設	庁舎	消防防災施設	環境衛生施設
26,138千円	25,808千円	82,882千円	26,799千円	43,538千円	2,576千円	190,269千円
公共交通施設	有線テレビ放送等施設	保育所・幼稚園	放課後児童施設	診療所	保健センター	その他福祉施設
5,494千円	107,808千円	623,508千円	5,871千円	77,755千円	4,378千円	10,490千円
小学校	中学校	給食センター	公営住宅	その他施設	合計	
98,331千円	39,910千円	195,181千円	14,535千円	251千円	1,685,869千円	

※平成25年度の実績額です。

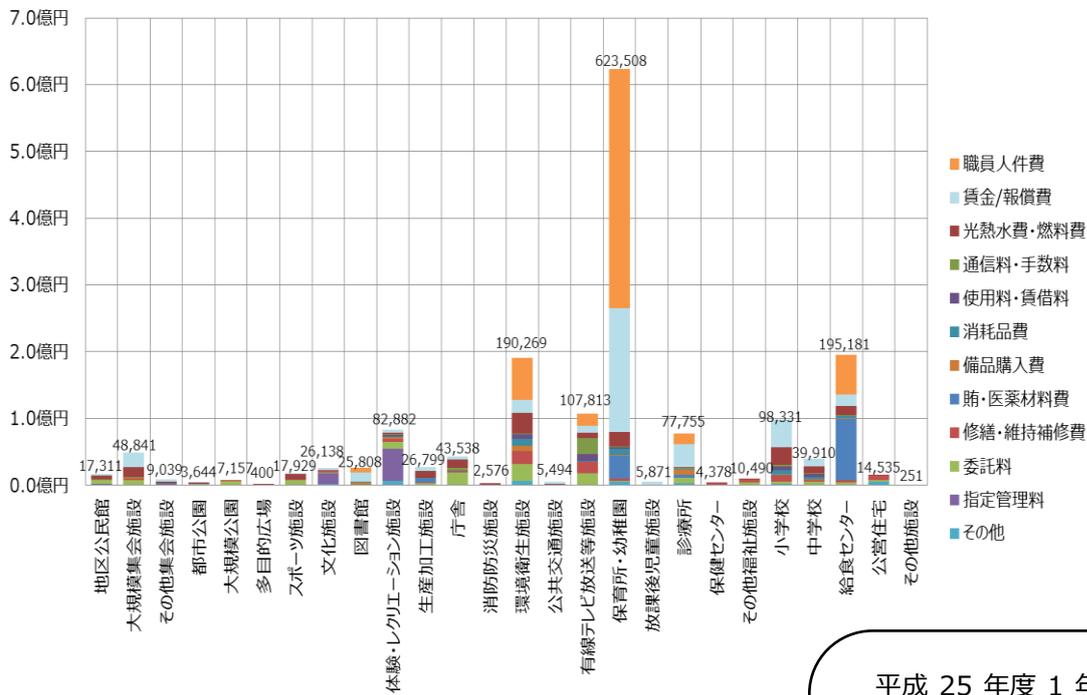
町民ひとりあたり 71,883 円

※利用料収入などは考慮していません

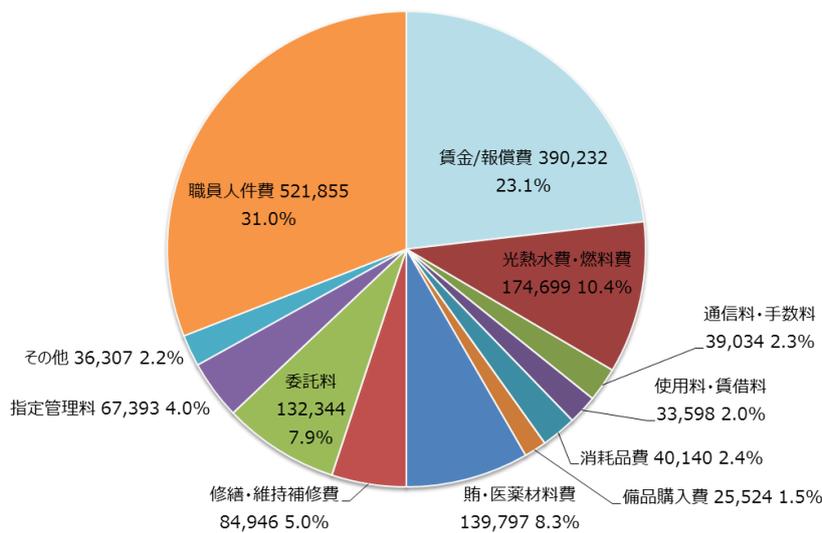
【公共施設管理・運営コスト比較グラフ①（施設 単位：千円）】



【公共施設管理運営コスト比較グラフ②（施設・費目 単位：千円）】

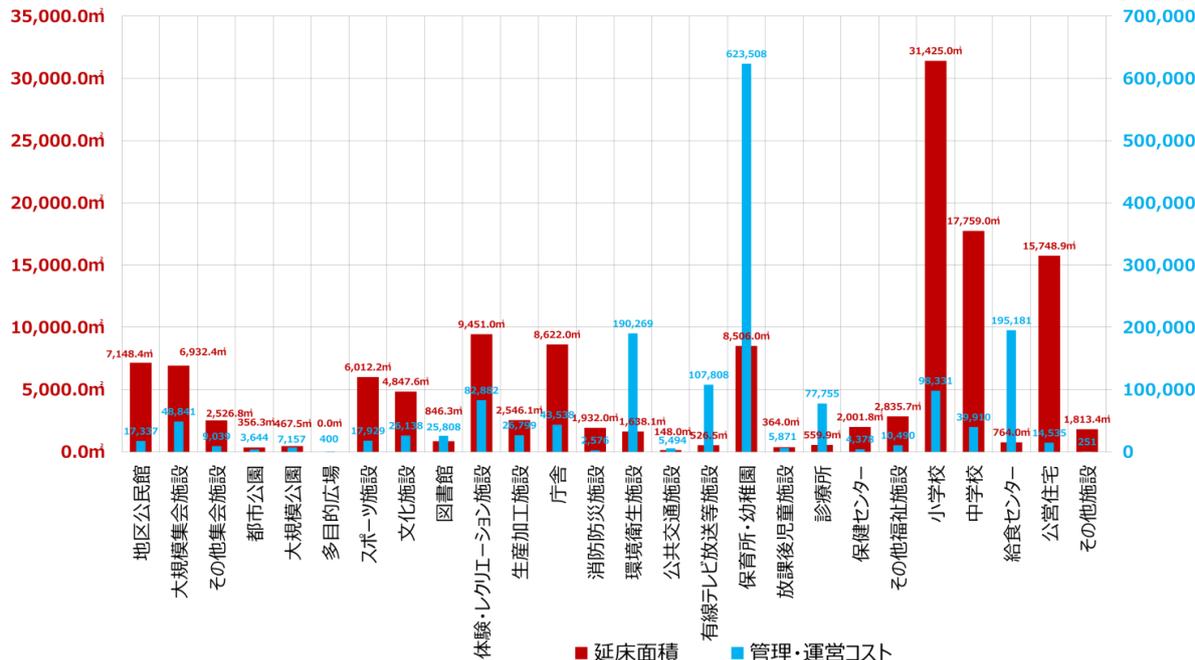


【公共施設管理運営コスト比較グラフ③（費目 単位：千円）】



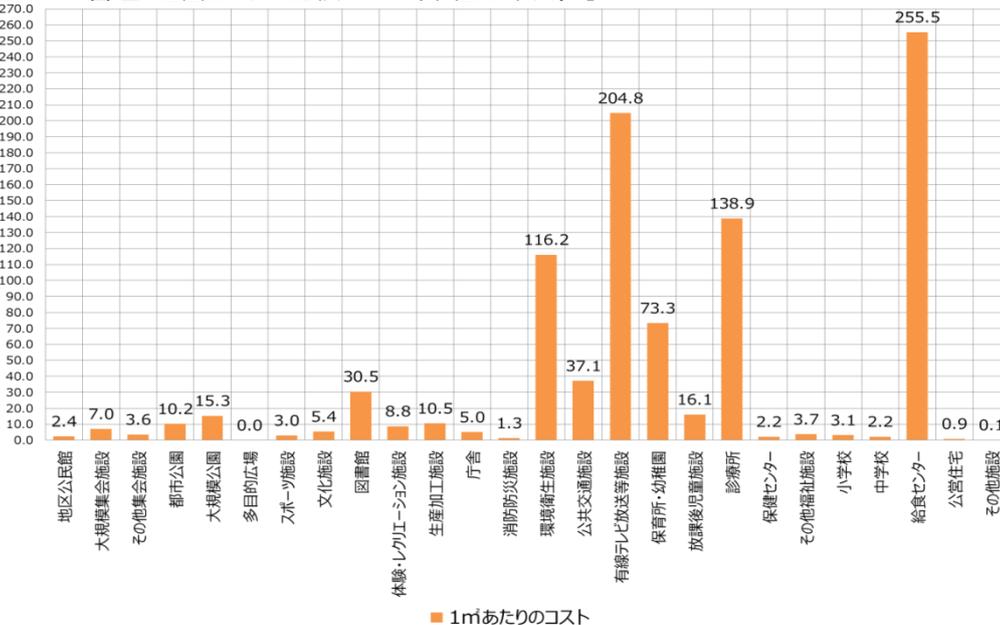
平成 25 年度 1 年間の公共施設の管理・運営コストを見ると、約 16 億 8,587 万円かかっています。施設ごとと比較すると、職員人件費も含めた保育所・幼稚園が全体の 37.0%の約 6 億 2,351 万円かかっています。次いで給食センターや環境衛生施設などが大きな割合を占めています。費目ごとと比較すると、運営にかかる職員人件費が 31.0%、臨時職員の賃金が 23.1%と大きくなっており、これらを合わせると 54.1%と大きな割合になります。次いで維持管理に必要な光熱水費や生産加工等に必要な賄・医薬材料費の割合が大きくなっていきます。

【施設の規模と管理・運営コストの比較グラフ】



各公共施設の規模である延床面積と1年の管理・運営コストを比較すると上のグラフのようになります。必ずしも施設の規模と比例する訳ではなく、業務内容によることが分かります。特に保育所・幼稚園、給食センター、診療所、環境衛生施設、有線テレビ放送等施設等は、施設の規模と関係なく管理・運営コストが高いことが分かります。小学校・中学校の教職員人件費（臨時講師等を除く）は京都府負担ですので、与謝野町としての負担は低くなっています。

【1㎡あたりの管理・運営コストの比較グラフ（単位：千円）】



施設1㎡あたりのコストを見ると、給食センターや有線テレビ放送等施設、診療所などは施設数が少ないですが管理・運営コストがかかっていることがわかります。

その5 与謝野町の公共施設の将来コスト

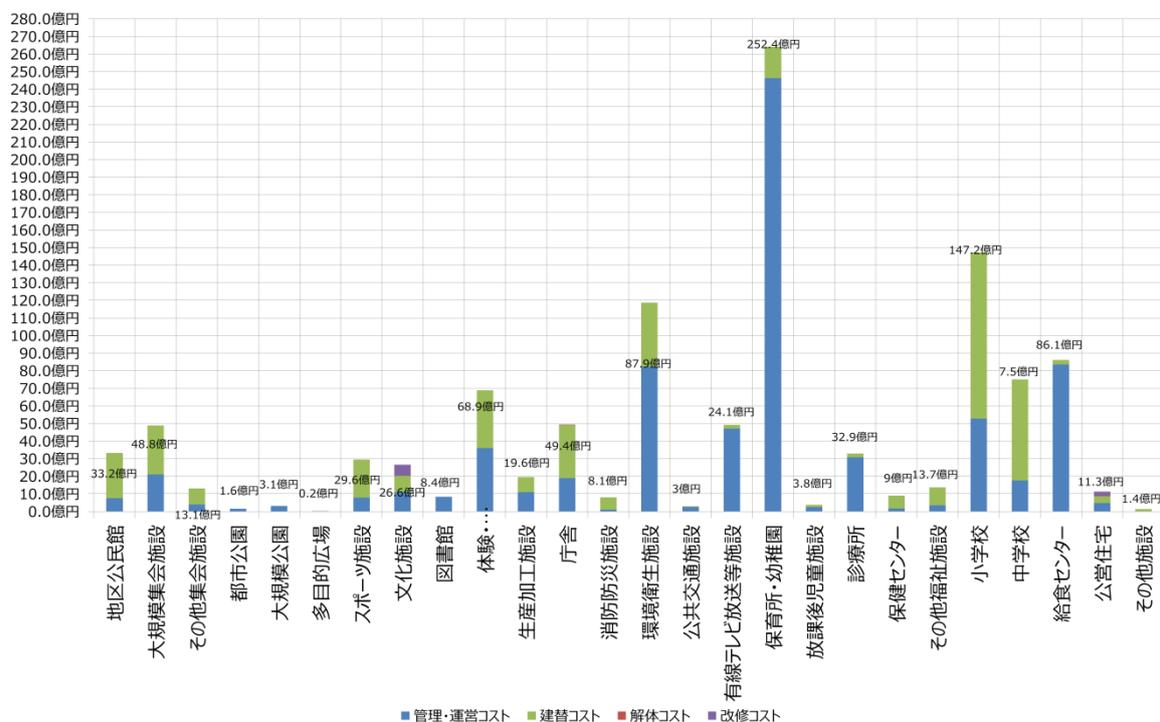
各公共施設をこのまま維持した場合の平成 70 年度までの将来コストの合計は以下のとおりです。管理・運営コストは平成 25 年度をベースに算出し、建替コスト、改修コスト、解体コストを示しています。基本的に各施設とも耐用年数が到来すれば同規模（延床面積）に建替・改修・解体を行うことを想定しています。

【公共施設将来コスト】

(単位：千円)

区分/施設名	地区公民館	大規模集会施設	その他集会施設	都市公園	大規模公園	多目的広場
管理・運営コスト	748,000	2,112,000	396,000	158,400	308,000	17,600
建替コスト	2,573,363	2,772,960	909,637	0	0	0
解体コスト	0	0	0	0	0	0
改修コスト	0	0	0	0	0	0
コスト計	3,321,363	4,884,960	1,305,637	158,400	308,000	17,600
区分/施設名	スポーツ施設	文化施設	図書館	体験・レクリエーション施設	生産加工施設	庁舎
管理・運営コスト	792,000	1,100,000	836,000	3,608,000	1,100,000	1,892,000
建替コスト	2,164,388	920,148	0	3,286,066	862,616	3,011,520
解体コスト	0	0	0	0	0	32,796
改修コスト	0	636,800	0	0	0	0
コスト計	2,956,388	2,656,948	836,000	6,894,066	1,962,616	4,936,316
区分/施設名	消防防災施設	環境衛生施設	公共交通施設	有線テレビ放送等施設	保育所・幼稚園	放課後児童施設
管理・運営コスト	110,000	8,240,000	242,000	4,708,000	24,620,000	255,200
建替コスト	695,536	3,634,806	53,280	209,225	1,800,000	120,113
解体コスト	0	0	0	0	0	0
改修コスト	0	0	0	0	0	0
コスト計	805,536	11,874,806	295,280	4,917,225	26,420,000	375,313
区分/施設名	診療所	保健センター	その他福祉施設	小学校	中学校	給食センター
管理・運営コスト	3,080,000	176,000	352,000	5,280,000	1,760,000	8,360,000
建替コスト	210,886	720,630	1,020,854	9,443,280	5,739,243	252,120
解体コスト	0	0	0	0	0	0
改修コスト	0	0	0	0	0	0
コスト計	3,290,886	896,630	1,372,854	14,723,280	7,499,243	8,612,120
区分/施設名	公営住宅	その他施設	合計			
管理・運営コスト	476,000	10,120	70,737,320	管理・運営コスト約 707.4 億円 建替コスト約 409.2 億円 解体コスト約 4,630 万円 改修コスト約 8.9 億円		
建替コスト	393,641	127,354	40,921,666			
解体コスト	13,500	0	46,296			
改修コスト	251,109	0	887,909			
コスト計	1,134,250	137,474	112,593,191			

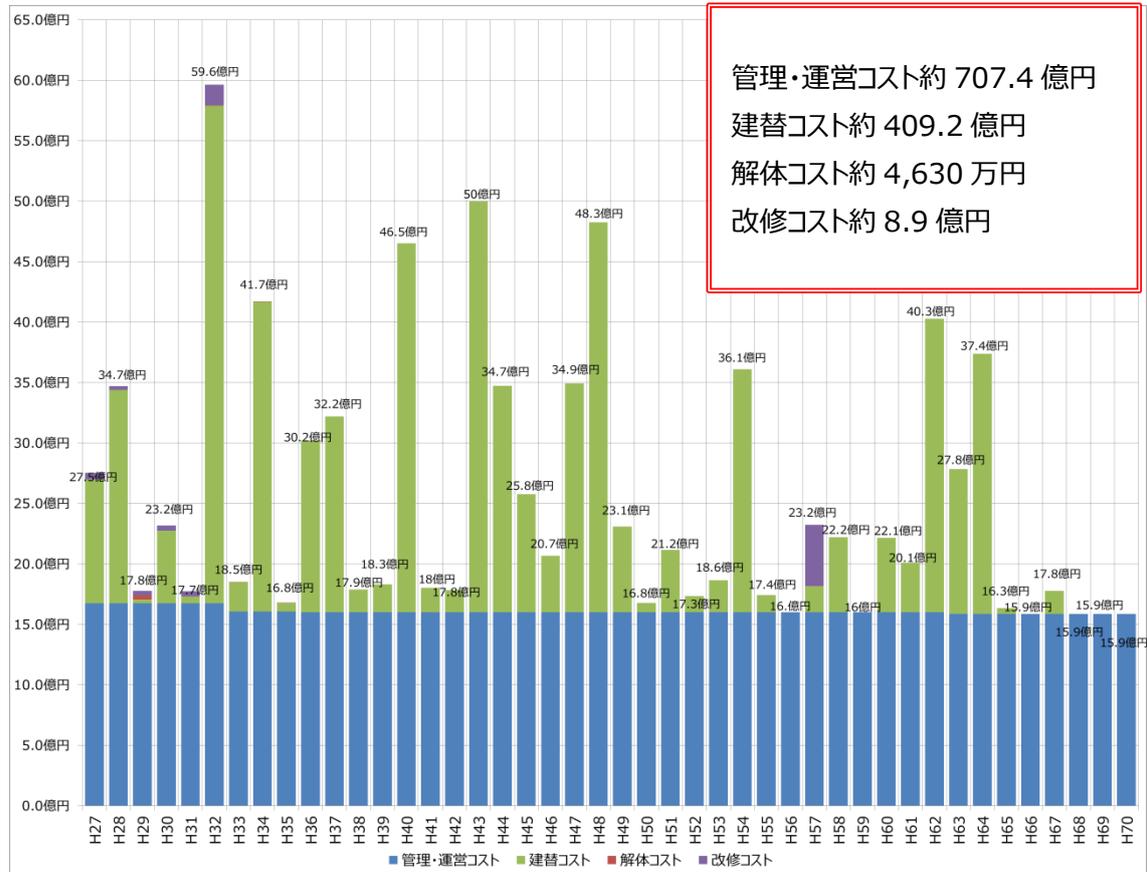
【将来コスト比較グラフ（施設カテゴリー比較）】



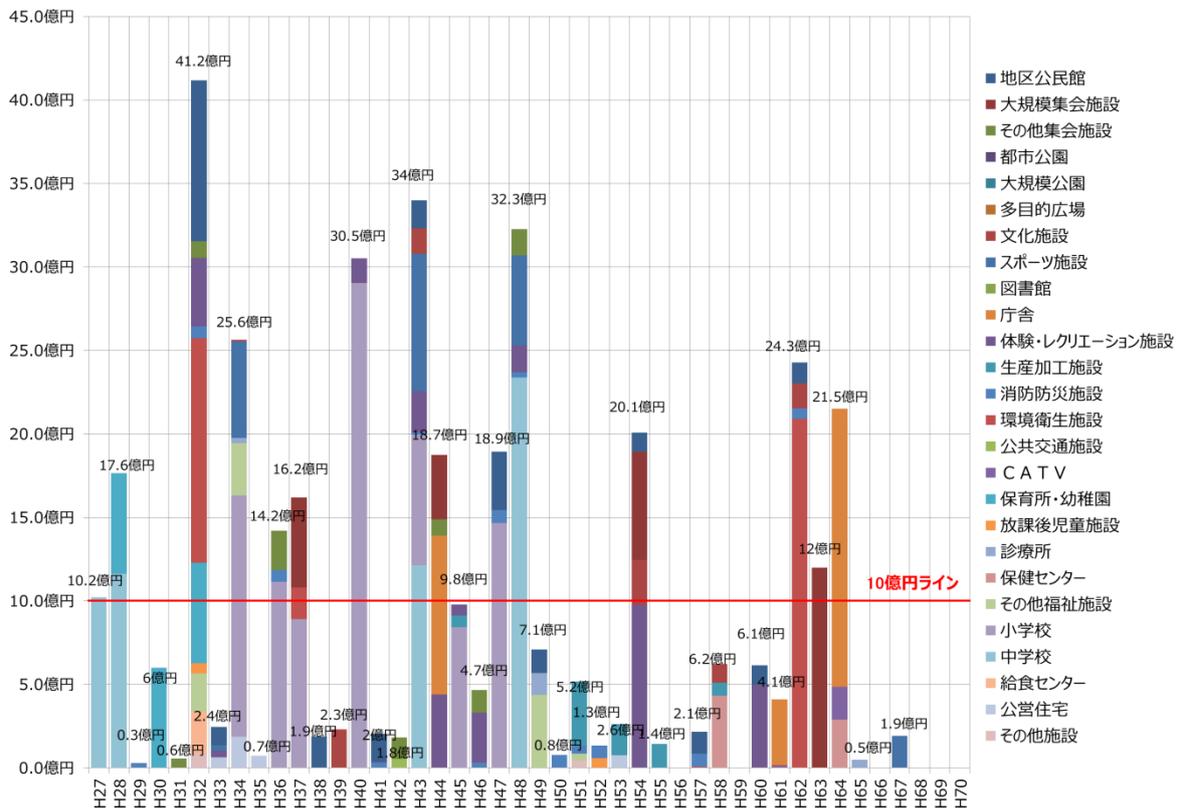
各公共施設の将来コストを比較すると、上のグラフのようになります。公共施設ごとに管理・運営コストと整備コストの割合が様々です。一番大きい保育所・幼稚園では現在 10 ある施設を認定こども園 3 園にまとめることになっていますので、建替コストが抑えられますが、管理・運営コストの割合が圧倒的に多くなっています。給食センターや診療所、有線テレビ放送等施設も建物にかかるコストよりも管理・運営にかかるコストが圧倒的に多いことが分かります。

小学校・中学校をはじめとするその他の施設は管理・運営コストと整備等のコストが同程度となっています。

【将来コスト推移と比較グラフ】



【将来コスト推移と比較グラフ（建替えコスト抜粋）】



さらに平成 70 年度までの各年度のコスト推移を見てみると、管理・運営コストは平成 25 年度のコストを基本に横置き（解体や統合方針がある場合は減少させている。）なので年間約 16.9 億円が続くこととなります。その上に整備等のコストが積みあがるイメージです。

各カテゴリで「平成 27 年度時点で耐用年数を超過している建物は 5 年後に建替え」としていますので、平成 32 年度に建替えコスト約 41.2 億円という現実離れた数字が積みあがります。これは平成 25 年度一般会計決算額 113 億円と比較すると約 36.5%となっています。後述しますが平成 25 年度の普通建設事業費が 8.1 億円ほどであることを考えれば到底実行できるものではありません。

他の年度でも建替えコストだけで 10 億円を超えてしまう年度が 15 か年度もあり、現状の施設をそのまま建替えることが実行困難であることが分かります。

参考に、将来の整備コストの年度ごとの一覧表を次ページにお示します。

【参考：公共施設整備等年表】

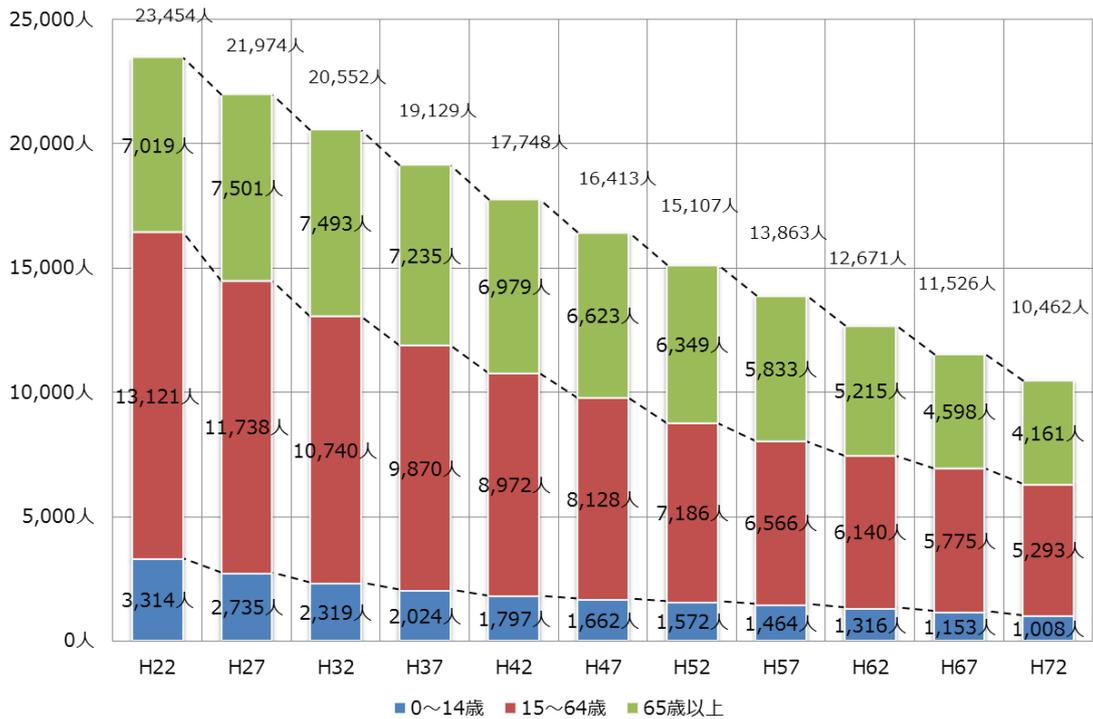
(単位：千円)

施設名	建替え		施設名	建替え	
	実施年度	コスト		実施年度	コスト
加悦中学校	H27	1,023,005	岩滝母と子どものセンター	H36	170,928
年度合計	1件	1,023,005	堂谷公民館	H36	63,756
岩滝認定こども園	H28	600,000	岩滝第三分団消防車庫	H36	70,614
加悦中学校	H28	1,163,590	三河内小学校	H36	1,114,410
年度合計	2件	1,763,590	年度合計	4件	1,419,708
加悦第三分団消防車庫	H29	29,933	加悦地域公民館	H37	539,928
年度合計	1件	29,933	阿蘇霊照苑	H37	188,925
加悦認定こども園	H30	600,000	石川小学校	H37	891,330
年度合計	1件	600,000	年度合計	3件	1,620,183
川上公民館	H31	55,368	幾地地区公民館	H38	187,870
年度合計	1件	55,368	年度合計	1件	187,870
かや山の家	H32	175,464	江山文庫	H39	230,000
算所地区公民館	H32	29,160	年度合計	1件	230,000
加悦地区公民館	H32	136,890	道の駅	H40	147,960
与謝地区公民館	H32	89,280	岩滝小学校	H40	1,984,950
金屋地区公民館	H32	94,680	山田小学校	H40	917,400
温江地区公民館	H32	109,440	年度合計	3件	3,050,310
香河地区公民館	H32	60,480	岩屋地区公民館	H41	167,256
石田地区公民館	H32	124,200	野田川第二分団消防車庫	H41	30,240
弓木地区公民館	H32	129,240	道の駅屋外トイレ	H41	5,400
三河内地区公民館	H32	188,917	年度合計	3件	202,896
農村女性の家	H32	75,384	算所会館	H42	128,473
藤ヶ森会館	H32	24,624	与謝野駅舎	H42	53,280
織物技能訓練センター	H32	191,844	年度合計	2件	181,753
木工加工施設	H32	43,560	四辻地区公民館	H43	168,660
加悦第一分団消防車庫	H32	70,373	岩滝体育館	H43	821,254
衛生プラント	H32	1,345,600	農村文化保存伝習センター	H43	153,120
公用車庫	H32	83,866	野田川ユースセンター	H43	246,694
野田川認定こども園	H32	600,000	岩滝第二分団消防車庫	H43	14,310
岩滝児童館	H32	61,901	桑飼小学校	H43	781,110
野田川老人憩いの家	H32	124,549	橋立中学校	H43	1,213,938
障害者グループホーム・就労継続支援施設	H32	104,648	年度合計	7件	3,399,086
給食センター	H32	252,120	中央公民館	H44	385,580
年度合計	22件	4,116,220	幾地コミュニティセンター	H44	96,912
加悦奥地区公民館	H33	109,800	加悦双峰公園	H44	439,200
城山公園弓道場	H33	34,142	与謝野町役場	H44	951,160
三河内山の家	H33	37,944	年度合計	4件	1,872,852
町営住宅	H33	62,590	生産物特産加工施設	H45	64,728
年度合計	4件	244,476	地域農産物等活用型交流施設	H45	70,344
野田川体育館	H34	396,025	与謝小学校	H45	842,160
農業者健康管理施設	H34	183,463	年度合計	3件	977,232
松風庵	H34	9,760	若者センター	H46	136,512
医師住宅	H34	29,542	染色センター	H46	298,548
加悦社会福祉センター	H34	314,261	岩滝第四分団消防車庫	H46	31,010
市場小学校	H34	1,445,730	年度合計	3件	466,070
町営住宅	H34	62,590	滝地区公民館	H47	147,240
加悦教員住宅	H34	122,959	石川地区公民館	H47	202,316
年度合計	8件	2,564,330	野田川第五分団消防車庫	H47	77,184
町営住宅	H35	71,532	加悦小学校	H47	1,466,190
年度合計	1件	71,532	年度合計	4件	1,892,930

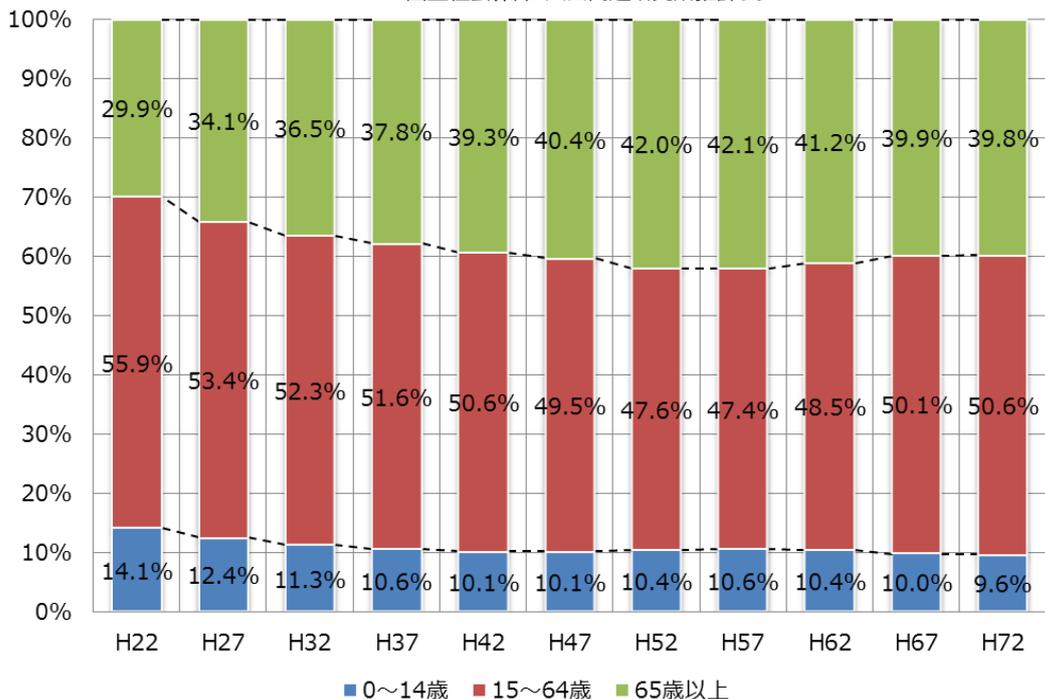
その6 今後の展望（人口推移と財政状況）

ここまで公共施設の状況を見てきましたが、一方で人口推移と財政状況についてはどうでしょう。「今まで見てきた公共施設をこのまま維持し続けられたらどうなるか？」という状況が果たして実行可能なのでしょうか？
まずは人口推移です。

【与謝野町人口推移グラフ】 ※国立社会保障・人口問題研究所推計より



【与謝野町年代別人口割合グラフ】 ※国立社会保障・人口問題研究所推計より

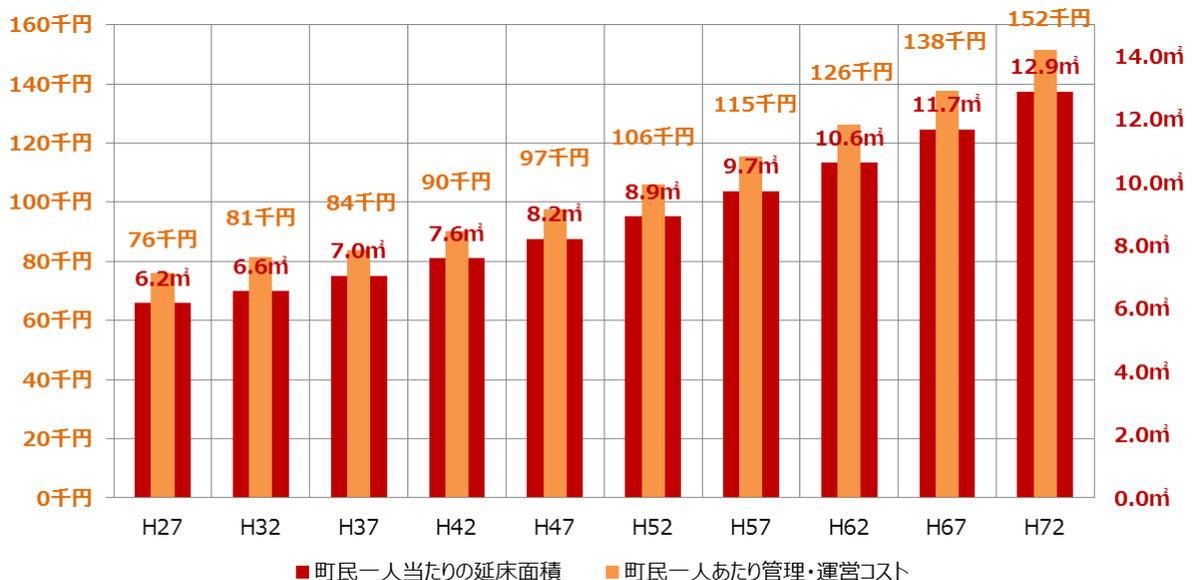


人口推移は5年に1度の国勢調査を基礎として推計しています。

与謝野町の平成22年度から平成72年までの50年間の人口推計を見てみると、平成22年度に23,454人ある人口が、平成72年度では半分以上の10,462人まで減少します。特に15歳以下の人口の減少が激しく、50年間で約70%の減少、次いで生産年齢人口と言われる15～64歳の人口も約60%減、65歳以上の高齢者が約40%の減となります。実数で見ると、15歳以下が2,306人の減、15～64歳が7,828人の減となっている一方で65歳以上の高齢者人口は2,858人の減少に留まっています。これは年代別人口割合の推移をご覧になると高齢化率が2010年の29.9%だったのが、2030年以降には40%前後で推移していくことからわかります。そうすると税収が激減することは目に見えています。

人口が減少していきますので、町民一人当たりの延床面積や管理・運営コストは増加していきます。

【与謝野町町民一人当たり公共施設延床面積及び管理・運営コスト推移】



現在の規模で公共施設を維持していくと、住民一人当たりの公共施設延床面積はどんどん大きくなっていきます。公共施設の問題を早くから研究している東洋大学の調べでは、住民一人当たりの公共施設延床面積の全国自治体平均3.42㎡とされています（東洋大学 PPP 研究センター分析結果）。人口が少なくなるほど面積は大きくなる傾向にあり、与謝野町と同等の人口規模にある自治体平均は5.86㎡と高くなっていますが、上のグラフをご覧になれば、その数値より大きく推移することになり、これでは人口規模に見合う公共施設の配置とは到底言うことが出来ません。

続いて現在の財政状況を見てみましょう。平成 25 年度一般会計歳出決算です。

【平成25年度一般会計歳出決算】

【単位：千円】

区 分	平成25年度決算	
		構成比
義 務 的 経 費	4,937,551	44.6%
1 人 件 費	1,795,738	16.2%
うち職員給	1,162,562	10.5%
2 扶 助 費	1,426,189	12.9%
3 公 債 費	1,715,624	15.5%
うち一時借入金利子	0	0.0%
4 物 件 費	1,883,446	17.0%
5 維 持 補 修 等	55,338	0.5%
6 補 助 費 等	1,196,225	10.8%
うち一部事務組合負担金	525,436	4.7%
7 積 立 金	270,542	2.4%
8 投 資 及 び 出 資 金	0	0.0%
9 貸 付 金	19,790	0.2%
10 繰 出 金	1,898,996	17.1%
小 計 (1~10)	10,261,888	92.7%
11 投 資 的 経 費	811,186	7.3%
うち普通建設事業費	811,186	7.3%
うち単独事業	778,021	7.0%
うち災害復旧事業費	0	0.0%
歳出合計	11,073,074	100.0%

内、白書で取り上げた施設分 3 億 1,757 万円

平成 25 年度の一般会計の歳出決算は 110 億 7,300 万円です。本白書では公共施設の管理・運営コストを約 16 億 8,587 万円としています。これは上の表の性質上、物件費と人件費、補助費の一部になっています。決算総額に対する割合としては 15.2%になり、今後はこの割合から抑制をはかるように努めるべきです。一方で、将来の整備コスト（建替え、改修、解体の合計）を約 409 億 2,167 万円となっており、平成 70 年までの 44 年間で見た場合、1 年平均約 **9 億 3,004 万円**となっています。一方で平成 25 年度の普通建設事業費が約 8 億 1,119 万円ですが、そのうち本白書で取り上げた公共施設の整備にかかる事業費は約 3 億 1,757 万円となっており、6 億 1,247 万円ほどの大きな隔りがあります。

その7 目標となる数値例

公共施設の今後を財政状況の推移と照らし合わせて見てみると、現状の公共施設をそのまま維持していくと与謝野町の財政は早々に破綻する可能性があります。これは最も単純な推計なので、やや非現実的な印象を受けられるとは思いますが、現状認識のためには知っておかなければならない情報です。

では、こういった状況に直面する中で、どのような目標を設定して取り組むべきでしょうか？

ここに一つの分析結果があります。全国の自治体が直面する、今後の公共施設の再投資問題を早くから研究してきた東洋大学 PPP 研究センターの分析結果です。

人口一人当たりの延床面積

⇒全国平均：3.42 m²

⇒人口 20,000 人～22,500 人の自治体平均：5.86 m²（同等人口規模自治体平均）

東洋大学の研究では、国民負担に直結する指標として「人口一人当たりの延床面積」を用いて分析しています。自治体の人口規模が小さくなるほど一人当たりの延床面積が大きくなり特に合併団体では顕著になっているとしています。そんな中、人口一人当たりの延床面積 2 m²の自治体でも将来の更新投資資金不足が見込まれていることから、全国で非常に多くの自治体が、財政上の大きな問題になると予想しています。

それでは与謝野町ではどうでしょうか？与謝野町の町民一人当たりの延床面積は

【与謝野町の町民一人当たりの延床面積】

総延床面積 135,778.9 m² ÷ 23,454（H22 国勢調査人口） = 約 5.79 m²

となっています。全国平均から+2.37 m²、同等人口規模自治体平均から△0.07 m²で、全国平均を上回っているものの、同等人口規模の自治体平均とは同水準にあると言えます。

■全国平均をベースにしたアプローチ

与謝野町の人口一人当たりの延床面積を全国平均の 3.42 m²にしようとすると、総延床面積を 80,212.7 m² (3.42 m²×23,454 人 △55,566.2 m² : △40.9%) まで減少することになり、与謝野町の 1 施設当たりの平均延床面積約 689.2 m²（総延床面積 135,778.9 m²÷197 施設）とすると約 81 施設を廃止や譲渡等する必要があります。そうなると残る施設は 116 施設となります。

これはあくまで現在の人口（平成 22 年度国勢調査）で算出したものなので先述した人口推移に照らし合わせると各年度時点で以下ようになります。

■住民一人当たりの公共施設延床面積を全国平均水準 3.42 m²にする場合のシミュレーション

	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H67
人口推移	20,552 人	19,129 人	17,748 人	16,413 人	15,107 人	13,863 人	12,671 人	11,526 人
住民一人当たりの公共施設延床面積を全国平均の3.42m ² とする場合の総延床面積	70,287.8m ²	65,421.2m ²	60,698.2m ²	56,132.5m ²	51,665.9m ²	47,411.5m ²	43,334.8m ²	39,418.9m ²
その場合の削減m ² ※現存からの削減	△ 65,491.1m ²	△ 70,357.7m ²	△ 75,080.7m ²	△ 79,646.4m ²	△ 84,113.0m ²	△ 88,367.4m ²	△ 92,444.1m ²	△ 96,360.0m ²
削減率	△ 48.2%	△ 51.8%	△ 55.3%	△ 58.7%	△ 61.9%	△ 65.1%	△ 68.1%	△ 71.0%
削減施設相当数	△95	△102	△109	△116	△122	△128	△134	△140
残存施設数	102	95	88	81	75	69	63	57
その場合の年間管理運営コスト	8.7億円	8.1億円	7.5億円	7.0億円	6.4億円	5.9億円	5.4億円	4.9億円
残存施設の建替えコスト①	211.8億円	197.2億円	182.9億円	169.2億円	155.7億円	142.9億円	130.6億円	118.8億円
削減施設の解体コスト②	19.6億円	21.1億円	22.5億円	23.9億円	25.2億円	26.5億円	27.7億円	28.9億円
建替え・解体にかかるコスト合計 ①+②	231.5億円	218.3億円	205.5億円	193.1億円	181.0億円	169.4億円	158.3億円	147.7億円

※1施設あたりの延床面積を135,778.9m²÷197施設=689.2m²で計算。

※施設1m²あたりの管理運営コストを16.9億円÷総延床面積135,778.9m²=約1.24万円円で計算

※施設1m²あたりの建替えコストを409.2億円÷総延床面積135,778.9m²=約30.14万円円で計算

※施設1m²あたりの解体コストを3万円円で計算

「住民一人当たりの公共施設延床面積の全国平均水準」を目標にするとこのようになります。住民一人当たり 3.42 m² を目指すことが妥当かどうかということもあり、あくまで参考値としてお示ししています。

まずは、財政状況の推移を鑑みながら、今後 20 年の間に耐用年数を迎える 104 施設についての対応をしっかりと考える必要があります。建替えだけでなく適切な管理や用途の見直し等による施設の長寿命化を図っていくことも重要になります。

平成 28 年度に策定予定の与謝野町版「公共施設等総合管理計画」においては、財政シミュレーションをお示した上で、持続可能かつ人口規模にあった適正な目標値を定めたいと考えています。